

1st Step : 意識障害を迅速に評価しよう

症例 1-1 75歳の男性。高血圧，2型糖尿病，高コレステロール血症で加療中。突然の頭痛と意識障害を主訴に来院。痛み刺激を行っても開眼せず，発語もない。刺激により両上肢を胸の前で屈曲させる。

-  : さあ，ヤバレジさん，意識障害の患者さんが来たわよ。どうする??
-  : ええっと，意識障害ときたらまずは頭のCT撮影ですね！
-  : あれれ，この人，息してないよ！
-  : いいところに気がついたわね，さすがデキレジくん。1年前とは違うわね。意識障害の原因検索を行うことは重要だけど，まずは患者さんの状態を手早く評価しましょう！
まずは，意識障害の程度は何で評価する？
-  : ええっと，Japan Coma Scale (JCS) が有名だと思います！
-  : Glasgow Coma Scale (GCS) というのも聞いたことがあるよ。
-  : そうそう，JCSはその名のとおり日本で作られて，日本でよく使われる意識障害の深度分類法よ。そしてGCSは世界的に使われているものなの。詳しくは表1-1と表1-2を見てね。
-  : せんせえ，JCSは何とか覚えられますけど，GCSは覚えられないですー複雑で。
-  : たしかにGCSは難しいよね。Eは，開眼，呼びかけ，痛み刺激の順で簡単に覚えられるけど。

表 1-1 Japan Coma Scale (JCS)

III. 刺激しても覚醒しない状態 (3桁の点数で表現) (deep coma, coma, semicomatose)	
300	痛み刺激にまったく反応しない
200	痛み刺激で少し手足を動かしたり顔をしかめたりする
100	痛み刺激に対して払いのけるような動作をする
II. 刺激すると覚醒する状態 (2桁の点数で表現) (stupor, lethargy, hypersomnia, somnolence, drowsiness)	
30	痛み刺激を加えつつ呼びかけを繰り返すと辛うじて開眼する
20	大きな声または体を揺さぶることにより開眼する
10	普通の呼びかけで容易に開眼する
I. 刺激しないでも覚醒している状態 (1桁の点数で表現) (delirium, confusion, senselessness)	
3	自分の名前，生年月日が言えない
2	見当識障害がある
1	意識清明とはいえない

表 1-2 Glasgow Coma Scale (GCS)

1. 開眼 (eye opening ; E)	E
自発的に開眼	4
呼びかけにより開眼	3
痛み刺激により開眼	2
なし	1
2. 最良言語反応 (best verbal response ; V)	V
見当識あり	5
混乱した会話	4
不適当な発語	3
理解不明の音声	2
なし	1
3. 最良運動反応 (best motor response ; M)	M
命令に応じて可	6
疼痛部へ	5
逃避反応として	4
異常な屈曲運動	3
伸展反応 (除脳姿勢)	2
なし	1

-  : Vは，英語で覚えるとわかりやすいのよ。下から順に，なし (1点)，Voice (2点)，Word (3点)，Sentence (4点) って覚えるの。たとえば，「あああ」って言っていたらVoice，「痛い」だったらWord，「おうちに帰る…」だったらSentenceよ。
-  : あ，それなら覚えられそう～。
-  : Mはどうやって覚えるの??
-  : アジミ体操 (図1-1) というのが有名な覚え方よ¹⁾。体で覚えましょう！
-  : じゃあ～，この人はあ～JCSだとお～，III -300??
-  : もっと早く喋ろうよ，ヤバレジさん。GCSだと，E1V1M3だね。